

令和3年度 県立学校プロジェクト学習推進事業  
実施報告書【課題実践校用】

学校番号	5
学校名	富山県立魚津高等学校

学校の現状と課題	本校は、校訓「明るい協力 撻まぬ勉強」のもと、「高い知性 豊かな情操 強い身体」を教育目標に、新川地区の拠点校として生徒を育成している。全ての生徒が高い進学希望を持ち、学習と部活動・学校行事に熱心に取り組んでいるが、今後の社会の変化に柔軟に対応でき、直面する問題を自ら解決しようとする力を育むことが急務である。そのために、地域と連携しつつ、幅広い視点から課題解決を目指す生徒の育成が課題となっている。	
テーマ(特色)	グローバルな視点からグローバルな視点へと結びつけ、主体的に課題を解決しようとする生徒の育成と指導の改善	
設定した「テーマ」の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1学年の生徒を対象に「キャリアデザイン講座」を計画的に実施し、生徒在住の市町村や富山県の未来および将来の職業、地域との関わり方を考える契機とした。魚津三太郎塾修了生による地域の課題や職業選択に関する講義、地域の課題を知り探究テーマ設定に向けたワークショップ、取組内容についてのポスター作成と発表会を実施することができ、成果を「記録集」として冊子にまとめることができた。生徒が将来のキャリアを考えるうえで、課題の発見と仮説の設定・分析・考察・発表という流れの重要性について理解を深めることができた。</li> <li>・3学年生徒を対象に、SDGsについて講師を招き、グローバルな視点から講義・指導を受けた。SDGsを通して、生徒が近い将来の生き方を主体的に設計し、その実現に向けてどのような進路選択をしていけばよいかを考える機会とした。最終的に、各自の課題解決に向けた「自分探しマップ」の作成とその発表会にて他者の視点や具体策を共有し、協働することへの理解を高めた。</li> </ul>	
実施内容 (具体的に記入する)	<p>1. キャリアデザイン講座①～⑤ 探究活動の基本となる情報収集・分析・プレゼン等発表の仕方までの流れを、生徒自身のキャリア設計という視点で学んだ。具体的には、①②で、魚津市職員および魚津三太郎塾修了生から魚津市の現状と問題点を聞き、職業選択を学ぶ。③④では、地元魚津市のさまざまな課題についてワークショップ・フィールドワークを行い、分析・考察を行う。⑤では、解決に向けた提案をポスターセッションとして発表した。</p> <p>2. 「SDGs」講座①～④ 富山県立大学より講師を招き、SDGsを中心とした講義、指導によって、生徒各自が課題発見と課題解決に向けて「将来何ができるか、何をするか」について具体的に考えた。①では、探究活動の意義と世界各地のSDGsの取り組み(具体例)について学んだ。②では、SDGsを使ったゲーム体験によって、課題解決に向けて、他者や他の組織(他国)との協力(協働)の重要性を学んだ。③④では、10年後の「自分探しマップの作成」を作成し、その発表会を通じて他者との意見交換を行った。</p>	
取組による成果 (プロジェクト学習推進の観点から)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域人材との連携を通じて、生徒が地域の課題を意識しながら、文理選択や大学の学部学科選びと自分のキャリアを設計することの大切さ(繋がりを)学ぶ機会となった。</li> <li>・高校生活において、自らの適性や能力を探り、学ぶべき事、身につけておくべき事に向かって主体的、意欲的に取り組むことができるきっかけとなった。</li> <li>・高校卒業後に、大学で学ぶ(学んだ)こと、その先(近い将来)の自分の姿を具体的にイメージ(デザイン)することができた。</li> <li>・課題発見と課題解決への取り組みについて、協働することの意義を理解することができた。</li> </ul>	
対象者(学年・人数など)	1年生160名・3年生157名・全教職員	
実施実績	4月	SDGs講座①「探究活動の意義」②「SDGsを使ったゲーム体験」③「自分探しマップづくりの説明と作成」④「発表会」
	5月	
	6月	
	7月	キャリアデザイン講座①「イントロダクション」②「講義1(魚津三太郎塾講義)」「自分たちの街を知る」
	8月	(グループごとにフィールドワークを行う)
	9月	キャリアデザイン講座③「ワークショップ(テーマ洗い出し・テーマ決め・担当決め)」
	10月	キャリアデザイン講座④「ワークショップ(各班の取り組みについての協議)」「ポスターセッションに向けての準備」
	11月	キャリアデザイン講座⑤「ポスターセッション(最終発表)」「振り返り」
	12月	
	1月	
	2月	
	3月	